

2017年11月22日

No. 17011

お客様各位

**2018年1月からのリチウム電池及びエンジンに係るIATA危険物規則の変更について**

平素より JALCARGO をご利用いただき、ありがとうございます。

さて 2018 年 1 月 1 日発効の IATA 危険物規則書第 59 版(DGR)において一部規則が変更されます。この案内ではお客様からのお問い合わせが多いと考えられる、リチウム電池及びエンジンに係る変更点について、下記のとおりお知らせいたします。

今後とも安全な航空危険物輸送に向けてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**記****1. リチウム電池に係る輸送規則の変更について**

包装基準 965(UN3480 リチウムイオン電池) および 包装基準 968(UN3090 リチウム金属電池) 【注】

A. Section IA および Section IB の追加要件として、以下が追加されました。

- ①単電池および組電池を区分 1.4S を除く分類 1(火薬類)、区分 2.1(引火性ガス)、分類 3(引火性液体)、区分 4.1(可燃性固体)、または区分 5.1(酸化性物質)の危険物と同じ外装容器に収納してはならない。
- ②単電池および組電池を含む包装物を、区分 1.4S を除く分類 1、区分 2.1、分類 3、区分 4.1、または区分 5.1 の危険物を含む包装物と同じオーバーパックの中に置いてはならない。

B. Section II の追加要件として、以下が追加されました。

単電池および組電池を他の危険物と同じ外装容器に収納してはならない。

C. Section II のオーバーパックの要件として、以下の文章のうち、下線部が追加されました。

Section II の要件を満たした包装物は 1 個だけオーバーパックに収納できる。オーバーパックはまた、お互いに危険な反応をする物質を包装物に含んでいなければ、区分 1.4S を除く分類 1、区分 2.1、分類 3、区分 4.1、または区分 5.1 を除く危険物または本規則の適用を受けない貨物をオーバーパックに置くことができる。

【注】包装基準 965 が適用となる UN3480 リチウムイオン電池、および包装基準 968 が適用となる UN3090 リチウム金属電池は危険物規則上、旅客機での輸送が禁止となっていますので、ご注意ください。

**2. 引火性液体で駆動するエンジン、内燃機関、又は燃料電池エンジンを非危険物として輸送する場合の書類要件の追加について**

エンジン類に適用される「特別規定 A70」に、引火性液体で駆動するエンジン、内燃機関、又は燃料電池エンジンを非危険物として輸送する要件として、荷送人が運航者に対し、洗浄と浄化が手順に従って行われていることを記した書類または電子書類を提出していることが追記されました。2018 年 1 月 1 日以降、当該品目を非危険物として出荷される際には、洗浄と浄化が適切に行われたことを証明する書類または電子書類の弊社への提出が必須となりますので、ご注意ください。

**3. その他**

前述1の変更点を反映して、「リチウム電池の取り扱い一覧表」を改定いたしましたので、ご参照願います。

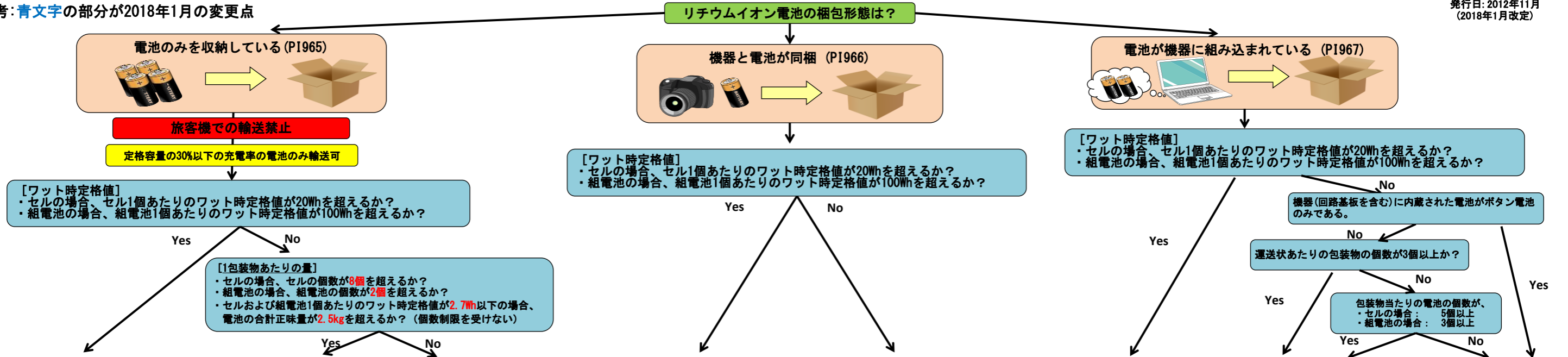
**[別添]**

添付-1:リチウムイオンまたはリチウムポリマーのセルおよび組電池の取り扱い一覧表(UN3480,UN3481)

添付-2:リチウム金属またはリチウム合金のセルおよび組電池の取り扱い一覧表(UN3090,UN3091)

以上

備考: 青文字の部分が2018年1月の変更点



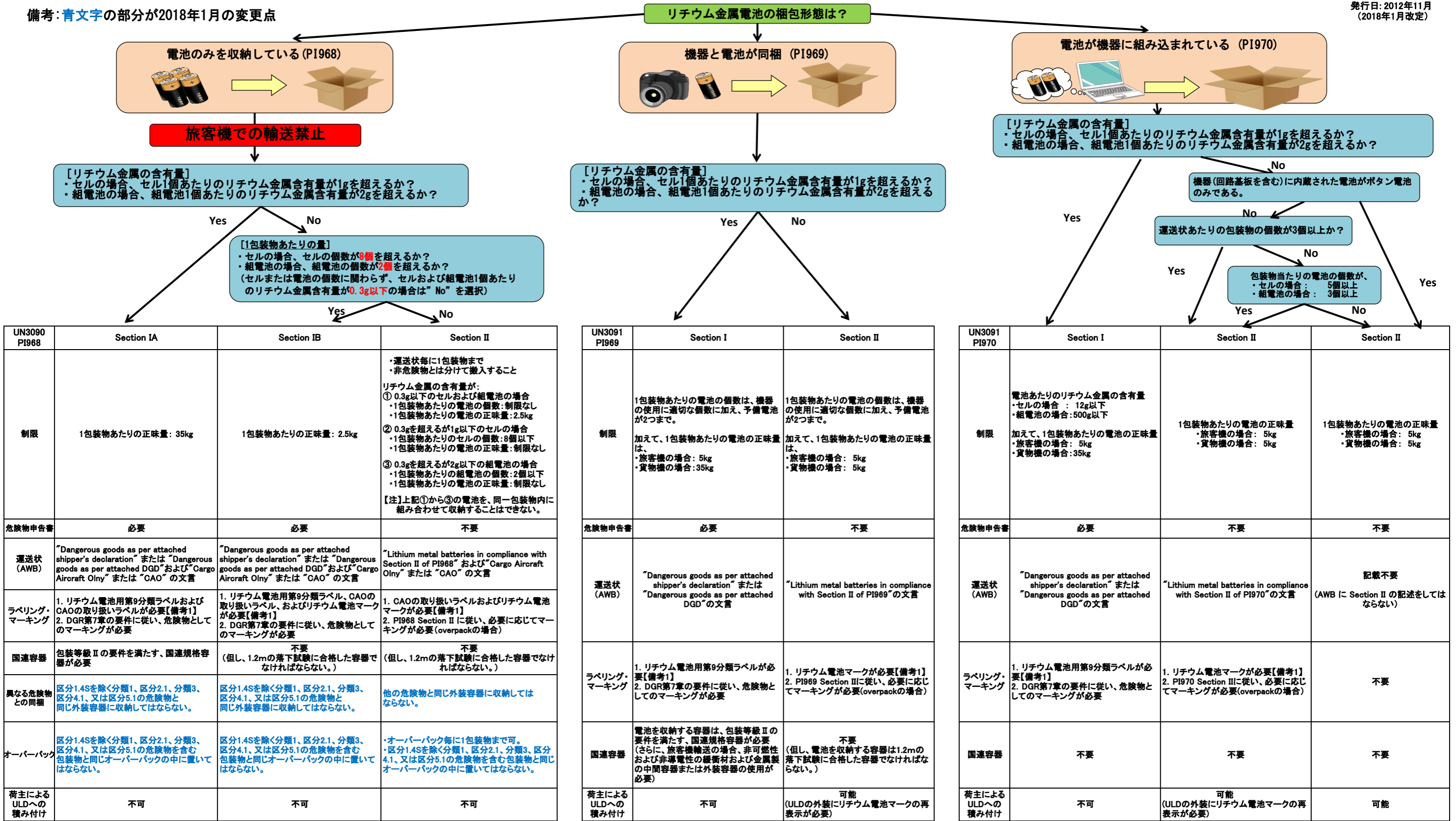
UN3480 PI965	Section IA	Section IB	Section II
制限	1包装あたりの正味量: 35kg	1包装あたりの正味量: 10kg	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運送状毎に1包装物まで</li> <li>• 非危険物とは分けて搬入すること</li> </ul> セルまたは組電池1個のワット時定格値が: ① 2.7Wh以下のセルおよび組電池の場合 ・1包装あたりの電池の個数: 制限なし ・1包装あたりの電池の正味量: 2.5kg ② 2.7Whを超えるが20Wh以下のセルの場合 ・1包装あたりのセルの個数: 8個以下 ・1包装あたりの電池の正味量: 制限なし ③ 2.7Whを超えるが100Wh以下の組電池の場合 ・1包装あたりの組電池の個数: 2個以下 ・1包装あたりの電池の正味量: 制限なし 【注】上記①から③の電池を、同一包装物内に組み合わせて収納することはできない。
危険物申告書	必要	必要	不要
運送状 (AWB)	"Dangerous goods as per attached shipper's declaration" または "Dangerous goods as per attached DGD" および "Cargo Aircraft Only" または "CAO" の文言	"Dangerous goods as per attached shipper's declaration" または "Dangerous goods as per attached DGD" および "Cargo Aircraft Only" または "CAO" の文言	"Lithium ion batteries in compliance with Section II of PI965" および "Cargo Aircraft Only" または "CAO" の文言
ラベリング・マーキング	1. リチウム電池用第9分類ラベルおよび CAOの取り扱いラベルが必要【備考1】 2. DGR第7章の要件に従い、危険物としてのマーキングが必要	1. リチウム電池用第9分類ラベル、CAOの取り扱いラベル、およびリチウム電池マークが必要【備考1】 2. DGR第7章の要件に従い、危険物としてのマーキングが必要	1. CAOの取り扱いラベルおよびリチウム電池マークが必要【備考1】 2. PI965 Section II に従い、必要に応じてマーキングが必要 (overpackの場合)
国連容器	包装等級 II の要件を満たす、国連規格容器が必要	不要 (但し、1.2mの落下試験に合格した容器でなければならない。)	不要 (但し、1.2mの落下試験に合格した容器でなければならない。)
異なる危険物との同梱	区分1.4Sを除く区分1、区分2.1、区分3、区分4.1、又は区分5.1の危険物と同じ外装容器に収納してはならない。	区分1.4Sを除く区分1、区分2.1、区分3、区分4.1、又は区分5.1の危険物と同じ外装容器に収納してはならない。	他の危険物と同じ外装容器に収納してはならない。
オーバーパック	区分1.4Sを除く区分1、区分2.1、区分3、区分4.1、又は区分5.1の危険物を含む包装物と同じオーバーパックの中に置いてはならない。	区分1.4Sを除く区分1、区分2.1、区分3、区分4.1、又は区分5.1の危険物を含む包装物と同じオーバーパックの中に置いてはならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オーバーパック毎に1包装物まで可。</li> <li>• 区分1.4Sを除く区分1、区分2.1、区分3、区分4.1、又は区分5.1の危険物を含む包装物と同じオーバーパックの中に置いてはならない。</li> </ul>
荷主によるULDへの積み付け	不可	不可	不可

UN3481 PI966	Section I	Section II
制限	1包装あたりの電池の個数は、機器の使用に適切な個数に加え、予備電池が2つまで。 加えて、1包装あたりの電池の正味量は、 ・旅客機の場合: 5kg ・貨物機の場合: 35kg	1包装あたりの電池の個数は、機器の使用に適切な個数に加え、予備電池が2つまで。 加えて、1包装あたりの電池の正味量は、 ・旅客機の場合: 5kg ・貨物機の場合: 5kg
危険物申告書	必要	不要
運送状 (AWB)	"Dangerous goods as per attached shipper's declaration" または "Dangerous goods as per attached DGD" の文言	"Lithium ion batteries in compliance with Section II of PI966" の文言
ラベリング・マーキング	1. リチウム電池用第9分類ラベルが必要【備考1】 2. DGR第7章の要件に従い、危険物としてのマーキングが必要	1. リチウム電池マークが必要【備考1】 2. PI966 Section II に従い、必要に応じてマーキングが必要 (overpackの場合)
国連容器	電池を収納する容器は、包装等級 II の要件を満たす、国連規格容器が必要	不要 (但し、電池を収納する容器は1.2mの落下試験に合格した容器でなければならない。)
荷主によるULDへの積み付け	不可	可能 (ULDの外装にリチウム電池マークの再表示が必要)

UN3481 PI967	Section I	Section II	Section II
制限	1包装あたりの電池の正味量は、 ・旅客機の場合: 5kg ・貨物機の場合: 35kg	1包装あたりの電池の正味量は、 ・旅客機の場合: 5kg ・貨物機の場合: 5kg	1包装あたりの電池の正味量は、 ・旅客機の場合: 5kg ・貨物機の場合: 5kg
危険物申告書	必要	不要	不要
運送状 (AWB)	"Dangerous goods as per attached shipper's declaration" または "Dangerous goods as per attached DGD" の文言	"Lithium ion batteries in compliance with Section II of PI967" の文言	記載不要 (AWBにSection II の記述をしてはならない)
ラベリング・マーキング	1. リチウム電池用第9分類ラベルが必要【備考1】 2. DGR第7章の要件に従い、危険物としてのマーキングが必要	1. リチウム電池マークが必要【備考1】 2. PI967 Section II に従い、必要に応じてマーキングが必要 (overpackの場合)	不要
国連容器	不要	不要	不要
荷主によるULDへの積み付け	不可	可能 (ULDの外装にリチウム電池マークの再表示が必要)	可能

【備考1】経過措置として、2018年12月31日まで以下のラベル貼付を認める。  
 1. リチウム電池用第9分類ラベルに代えて、一般危険物用の第9分類ラベルを貼付。  
 2. リチウム電池マークに代えて、DGR57版(2016年版)で定められたリチウム電池取り扱いラベルを貼付。

備考: 青文字の部分が2018年1月の変更点



【備考1】経過措置として、2018年12月31日まで以下のラベル貼付を認める。  
 1. リチウム電池用第9分類ラベルに代えて、一般危険物用の第9分類ラベルを貼付。  
 2. リチウム電池マークに代えて、DGR57版(2016年版)で定められたリチウム電池取り扱いラベルを貼付。